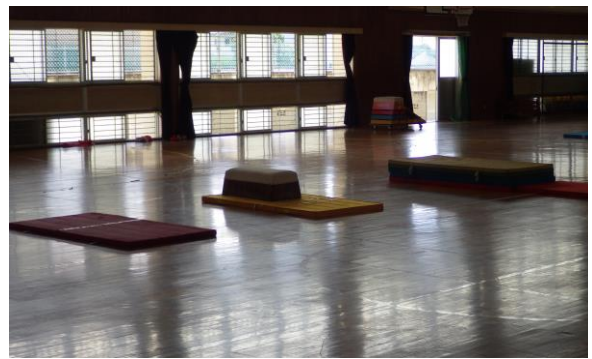


児童・生徒の実態

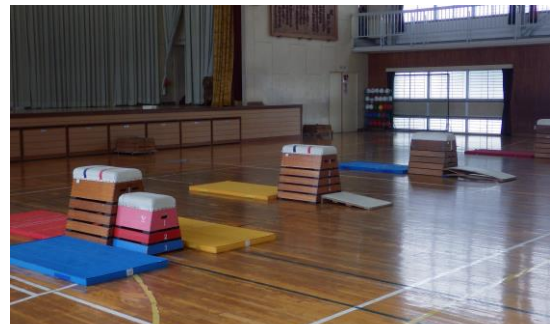
身体のバランスをとるのが難しい。協調運動が苦手である。台上前転では、身体のどこを使ってどのように回ったらよいか、分かりにくい。

☆手立て・合理的配慮

- ・ 跳び箱の上での前転の不安を解消するために、マット、マットと一段の跳び箱、マットを積み重ねたもの、3種類を用意して、場の設定の工夫をした。前転の練習をしっかりと行ってから台上前転を行った。(場の設定①)



- ・ 高さへの不安の解消のために、低い跳び箱に一度上がり、前転する場を設定した。児童の多くは、いろいろな場の設定を経験することにより、5段の台上前転ができるようになった。(場の設定②)



支援を受けてみて

- ・ マットの上で、前転ができたので、よかった。(本人)
- ・ 積み重ねたマットを使ったら、台上前転ができたよ。マットは広いから、こわくなかったよ。ぼくは、ここで練習するのがいいな。(本人)